

2022年11月10日
中国電力株式会社

島根原子力発電所2号機 アクセスホールカバー取付溶接部ひび発生に伴う
シュラウドサポート欠陥評価に係る報告手続き等について

島根2号機第17回定期検査（平成24年1月27日開始）において確認されたアクセスホールカバー（以下、「AHC」という。）取付溶接部のひびについて、今後提出するひびの進展評価結果（実用炉規則第58条報告）にかかる当社スケジュール（計画）を整理したため、説明する。

1. 経緯

島根2号機第17回定期検査において、原子炉圧力容器内の点検作業として、水中カメラを用いた目視点検（BWR炉内構造物点検評価ガイドライン[シュラウドサポート]に基づく点検（MVT-1））を実施していたところ、1箇所のAHC取付溶接部にひびがあることを確認した。

調査の結果、ひびがシュラウドサポートプレートに進展していることが確認されたことから、AHC取付溶接部に検出されたひびについて、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則（第58条2項）」に基づくAHC取付溶接部ひびの技術基準に適合しなくなると見込まれる時期の報告（以下、「実用炉規則第58条報告」という。）をすることで、現在準備を進めている。

2. 当社スケジュール（計画）

新規制基準にかかる設置変更許可により、基準地震動 S_s が確定したこと、また実用炉規則第58条報告について、評価結果の見通しが得られたことから、現在、以下のスケジュールで計画している。

- ・2022年11月末頃 定期事業者検査要領書の策定
- ・2022年12月末頃 定期事業者検査の実施
- ・2023年2月初頃 実用炉規則第58条報告の提出

以上